

# 夏の映画

この夏公開の映画から、おすすめ作品を紹介します。この夏は、世界で起きる戦争と平和、家族の在り方をあらためて考える機会になりそうです。

## 世界の現実

まずはアフガニスタンから、圧政の中を生きる女性たちの姿を映し出す2作品を。アフガニスタンでは、長い時間をかけて女性への教育や就労の機会がすすんできたが、2021年のタリバン政権復活によって、再び自由が奪われている。「ハフの手習い」(8月1日公開)は、19年から5年かけて撮影された三世代の女性の物語だ。ナジーバ・ヌーリ監督の母・ハフは、13歳で結婚させられ、教育を女性から遠ざけるイスラム社会の中で生きてきた。その彼女が、人生を取り戻そうと読み



『ハフの手習い』 (C) TAG Film

書きを覚え、伝統刺しゅうの施された衣装の商売を思い立つ。ハフの夢を応援しようとするメラを向ける娘、楽しそうに孫と読み書きを競うハフ。しかし…。

『撃たれた自由の声を撮れ』(8月15日公開)は、タリバンによる抑圧が激化するなか、仕事、教育、児童婚などの差別に抗う若い女性たちの約5カ月間を追った。女性たちは街に出て「仕事、パン、教育を」と訴え、銃を構えた兵士に「私たちはひるまない」と叫ぶ。スカーフに隠したスマートフォンで撮影された映像が、兵士の発砲で大きく揺れる。女がたたかうことをよしとしない家族にも反対され、親せき宅を転々としながら抵抗を



『撃たれた自由の声を撮れ』 (C) Limer Film (上記作品とも東京・ポリボレ・東中野、ヒューマン・トラスト・シネマ有楽町ほか全国順次)

は、地質学者の長岡省吾が原爆で溶けた瓦や石といった瓦礫を集め、執念と努力で開いた「原爆参考資料陳列室」が前身だ。『原爆資料館 語り継ぐものたち』(7月18日公開)は、歴代館長が自らの被爆体験を語り守り続けた歴史と、現在にいたる軌跡を映し出す。2万2000点を超える被爆者の遺品や資料は損傷が激し

いものもあり、劣化もしていく。国際情勢が大きく変化しようとしている今、原爆資料館が訴えるメッセージから、平和への決意をあらたにした

## 語り継ぐ平和

『原爆資料館 語り継ぐものたち』 (C) 広島ホームテレビ (7月18日(土)より東京・ポリボレ・東中野、7月24日(金)より広島・八丁座にて公開ほか全国順次)



## 家族を問う

『左利きの少女』(8月14日公開)は、台湾・台北を舞台にした母娘3人の物語。シングル・マザーと2人の娘は、夜市で麵の屋台を始め、必死に働く。夜市の熱気が伝わる画像と、細かな生活の描写に引き込まれる。ただしその生活は、貧困、古い価値観の重圧など、生易しくはない。ラストでは、二女、左利きの少女イージンによる小さな問題行動をきっかけに、家族の秘密があらわになり…。人には言えない何かを抱える人たちの痛みと優しさ、強さ。厳しい生活の中でも懸命に生



『レンタル家族』 (C) KOHSAKI A Pro (東京・新宿 K's cine maほか全国順次)

きる3人の姿に励まされる。さいごに、一見風変わりな作品『レンタル家族』(7月31日公開)を。仕事で多忙な毎日を通ぐす洋子。夫とは数年前に離婚。定期的に実家へ帰省し、認知症の母・千恵子のケアをする。ある日洋子は、認知症の進行が進み、孫と洋子の元夫の顔が分らない千恵子のために「家族をレンタル」し、家族団らんを計画する…。

『左利きの少女』 (C) 2025 LEFT-HANDED GIRL FILM PRODUCTION COMPANY LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED. (東京・ヒューマン・トラスト・シネマ有楽町ほか全国順次)



あり得たかもしれない幸せをつかの間演じる彼らは、帰ればそれぞれの現実が待っている。日本の家族関係の希薄さを映しながら、それでも人と人がつながっている姿に、ふしぎと希望を感じる。

## 編集部から

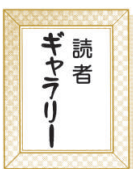
世論を騒がすクマ騒動(4・5面)。問題の背景、クマを知ること、予防策も見え、不安が少し和らいだ。情報提供など問題解決の先頭に立つ専門家、関係者の努力も知り、頭が下がりました。(あ)



## 折り紙の傘

滋賀・大津市 星操

大津支部ふじみ班の折り紙小組で立体的な傘をたくさん作りました。



(☆風景、人物、動植物、9条グッズの写真をお寄せください。Eメールでも可)

<月1回>

## 旬レシピ

## カレーゴマだれ冷やし中華

管理栄養士・料理家 金丸絵里加



肉を1枚ずつ広げて入れ、色が変わるまでゆでる。  
③別の鍋にたっぷりの湯を沸かし、中華麺を袋の表示通りにゆで、流水でもみ洗いし、水気を絞る。  
④器に③を盛り、小口切りにしたオクラとトマト、キュウリ、モズク、モヤシ、豚肉を彩りよく盛り、Aをかける。  
■1人分585kcal、塩分2.8g

ゴマだれにカレー粉を加えたひと味違う冷やし中華です。野菜やモズクで具だくさんに。  
材料(2人分) 中華生麺2玉、豚肉(しゃぶしゃぶ用)120g、オクラ6本、モヤシ½袋、生モズク40g、トマト½個、キュウリ1本、A(白すりゴマ大さじ3、しょうゆ・酢・水各大さじ2、砂糖大さじ1、カレー粉小さじ½、ゴマ油小さじ1、シナモンパウダー少々)  
作り方  
①トマトはくし形に切り、キュウリは細切りにし、モズクは食べやすい長さに切る。Aの材料を混ぜ、冷蔵庫で冷やしておく。  
②鍋に湯を沸かし、オクラ、モヤシの順にそれぞれ1分ほどゆでて取り出す。火を弱めて、豚